

(様式1)

| | |
|------------|---|
| タイトル | 地域の方々のお力をお借りしての取組み |
| 名称(学校・地域) | 大桑村立大桑小学校 |
| 日時・場所等 | |
| ホームページアドレス | http://www.kiso-ookuwa.net/syougaku/ |

【教育活動の内容】

1 クラブ活動

本校では、昨年度から地域の方々を講師に迎え、4年生以上がクラブ活動を行っています。本年度は、陶芸、工作、手芸、手話、ラケットの5つのクラブが発足し、計11名の講師の皆さんが参加してくださっています。日頃の授業では取り組めないようなことも、専門性をお持ちの講師の皆さんのお力添えにより、楽しさを味わったり、素敵な作品が出来上がったりしています。そのため、子どもたちはクラブ活動のある日を、いつも心待ちにしております。10月に行われた校内音楽会では、手話クラブの子どもたちが、講師の先生とともにステージに立ち、覚えた手話を交えながら歌を発表し、多くの皆さんから盛大な拍手をいただきました。また、手芸クラブの子どもたちが作った作品(スクラップブック・ディンプルアート・王冠マグネット等)が昇降口ホールに展示され、多くの皆さんに見ていただいています。



2 コカリナ作り

本校では、3年生が総合的な学習の時間の取組みの一つとして、平成16年度より、コカリナ作りに取り組んでいます。大桑村在住の羽根正熹さんが、村のヒノキの間伐材を使用して製作したコカリナの、仕上げ段階の工程を体験させていただいています。子どもたちは羽根さんに教えていただきながら、コカリナに穴を開けたり、サンドペーパーで磨いたり、オイルを塗り込んだりしながら完成させていきます。今年は、さらにその前段階である歌口作りから取り組み、全く音が出ない状態から出るようになるとても大切な工程を自分の手で仕上げたことで、より自分の楽器に愛着を持つことができました。首からぶら下げることの出来る、10cm足らずのとても小さな楽器なのですが、慣れてくると他の楽器同様に、きれいな音色を奏でることができます。子どもたちは、3年生時に製作したこのコカリナを用いて、4年生では村の文化祭、そして5年生では福祉祭りや植樹祭で演奏を披露します。



(長年、子どもたちにコカリナ作りを始め、様々な活動で支援いただいた羽根さんが、先日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。)